

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-222	高等学校	国語	現代の国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	現国 002-902	精選現代の国語		

1.編修の基本方針

① 言葉による見方・考え方を働かせ、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

- ・各単元扉に、その単元での学習目標を示すとともに、各教材で学習する主な目標も示しました。また、読解教材の「発問」や「学習の手引き」において、学習が効果的に行えるようなポイントを示しました。
- ・単元内に言語活動教材を配置し、その活動と読解教材との関連を図ることで、「話す・聞く」「書く」「読む」の学習が、有機的・効果的に行えるようにしました。

② 論理的思考力や伝え合う力を育み、実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。

- ・論理的思考力を身につける教材として、認識・社会・言語などの分野の評論をバランスよく採録、配置しました。
- ・話し合ったり、書いたものを読み合ったりする活動を豊富に配置し、更に相互評価する活動を取り入れることにより、伝え合う力を養えるようにしました。
- ・「共に生きる」と題した単元では、「自立」をテーマにした3編の評論を読み比べることで、社会生活に関するさまざまな考えを検討して自分の考えを深めていくことができるようにしました。

③ 教材本文とコラム・附録とを有機的に関連させ、多様な学習に対応できるようにする。

- ・教材どうしで、テーマや内容が特に関連するものがある場合には、「関連教材」としてリンクを示しました。
- ・各単元に「評論の読み方」「評論を要約しよう」「図書館の利用法」「グラフや写真の読み取り方」「文章を読み比べるために」「引用の方法」「探究学習へのアプローチ」といったコラムを掲載し、さまざまな文章・情報の読み解き方や利用の仕方などを分かりやすく示しました。
- ・「思考への扉」というコラムを3か所に掲載し、読解教材で取り上げられているテーマについて、掘り下げて考えることができるようにしました。また、読書に親しみ教養を高めるために、附録に「読書案内」を設けてコラム「思考への扉」からリンクさせ、各単元に掲載している教材について、テーマや内容が関連する図書を掲げました。
- ・附録には、さまざまな読解教材を掲載したほか、「評論読解へのアプローチ」「評論文キーワード」「思考ツール」といった資料を用意し、多様な学習に対応できるようにしました。
- ・附録として掲載した「この教科書で学ぶこと」では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各教材について、どんな事項を学習するのかを一覧で示し、学習の見通しや振り返りに生かせるようにしました。

2.対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1 出会いと発見	・本を読むことを対話と捉え、対話を通した自己発見の可能性に言及した評論を用意しました。(第1号) ・自然界の中での生物の擬態という現象の在り方を通して、自分の身体で感じ、経験し直すことの大切さを論じた評論を用意しました。(第1号) ・学校行事や道順などについて他者に分かりやすく説明する活動を通じて、伝え合う力を育む教材を用意しました。(第3号)	→6～11ページ →12～16ページ →21～28ページ
2 認識を深める	・「遊び」という行為がどういった場所に生じるかということを通して、自己と他者の関係性について論じた評論を用意しました。(第1号) ・水を鑑賞するという行為をもとに、日本と西洋との文化の違いを比較して述べる評論を用意しました。(第5号) ・フードロスの問題などを題材にして話し合い、視野を広げながら社会的な課題の解決策を検討する教材を用意しました。(第3号)	→36～41ページ →48～53ページ →59～66ページ
3 言葉と社会	・ギリシャ以来の伝統的な言語観とソシュールの言語観を対置して、言語の特徴を提示する評論を用意しました。(第1号) ・ワークショップを通してできあがったコミュニティをもとに、まちの豊かさとは何かについて論じる評論を用意しました。(第3号) ・題材を設定して情報を調べ、説明資料にまとめる活動を通じて、社会生活に生きる表現力を養う教材を用意しました。(第3号)	→80～86ページ →87～94ページ →110～116ページ
4 共に生きる	・生きていくうえで、相互依存のネットワークを伴った真の意味での自立を身につけていくことが重要であると論じる評論を用意しました。(第3号) ・市場の特質を引き合いに出し、個人の自立について論じる評論を用意しました。(第2号) ・異なる主張の文章を読み比べ、自分の意見をまとめる活動を通じて、主体的に社会と関わる態度を養う教材を用意しました。(第3号)	→130～137ページ →138～142ページ →151～155ページ
5 世界を広げる	・生命の進化の過程において、一見「無駄」に思える変異が持つ意義について論じる評論を用意しました。(第4号) ・人工知能との比較によって、人間が「自らの人生を生きる」とはどのようなことかを論じる評論を用意しました。(第1号) ・パラスポーツなどを題材に、ポスターセッションによる発表やスライドを用いた発表をする活動により、幅広い知識や教養を身につける契機となる教材を用意しました。(第1号)	→168～173ページ →174～182ページ →199～206ページ

3.上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 中学校までの学習内容とのつながりを図りやすくするため、教材の採録箇所を工夫しました。(学校教育法第51条1号)
- 将来の進路の選択や、一般的な教養を高めることに資するよう、教材の中で多様なテーマを取り上げるとともに、読書案内を掲載して読書へといざなうように配慮しました。(学校教育法第51条2号)
- 社会人として必要とされる国語の能力の基礎を身につけることができるように、言語活動教材において、スピーチ、話し合い、調査・発表、意見文、説明資料、レポートなどを取り上げました。(学校教育法第51条3号)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-222	高等学校	国語	現代の国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	現国 002-902	精選現代の国語		

1.編修上特に意を用いた点や特色

①目標

- ・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成するという「目標」を踏まえ、「内容」に示された「知識及び技能」の3事項と「思考力、判断力、表現力等」の3領域の学習が効率的・有機的に行えるようにするとともに、「学びに向かう力、人間性等」を十分に養うことができるように配慮しました。

②「知識及び技能」

- ・漢字および語彙については、読解教材の脚注欄に「注意すべき語句」を示したり、「学習の手引き」の後に「漢字と語彙」の問題を掲載したりすることで、意識的・継続的に学べるようにしました。
- ・情報と情報との関係や情報の整理については、コラムや言語活動教材、および附録の「思考ツール」で重点的に学べるようにしました。
- ・読書へのいざないとして、附録に「読書案内」を掲載し、各単元に掲載している教材について、テーマや内容が関連する図書を掲げました。

③「思考力、判断力、表現力等」の「A 話すこと・聞くこと」

- ・説明、スピーチ、話し合い、発表の言語活動教材を用意するとともに、読解教材との相互関連を図りました。

④「思考力、判断力、表現力等」の「B 書くこと」

- ・手順書、意見文、説明資料、レポートを書く言語活動教材を用意するとともに、読解教材との相互関連を図りました。

⑤「思考力、判断力、表現力等」の「C 読むこと」

- ・教材については、「3内容の取扱い」(4)ウの観点に示された事項に留意して選定しました。
- ・評論の読み方について取り立てて学べるよう、コラム「評論の読み方」、附録「評論読解へのアプローチ」「評論文キーワード」を用意しました。
- ・ポスターや法令文など、実社会で用いられているさまざまなテキストから情報を読み取る教材として「実用文を読む」を用意しました。
- ・評論でよく取り上げられるテーマについて掘り下げて考えられるよう、コラム「思考への扉1～3」を用意しました。
- ・「共に生きる」と題した単元には、同じテーマで読み比べのできる3編の評論を用意し、コラム「文章を読み比べるために」で読み比べの観点を示しました。また、その他の単元においても、テーマや内容が特に関連する教材がある場合には、「関連教材」としてリンクを示しました。

2.対照表

単元	教材名	学習指導要領の内容				頁	配当時数				学期
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等				話	書	読	計	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと						
1 出会いと発見	まだ知らない自分に出会う	(1)ア、ウ、エ、オ	(1)ア、イ		(1)ア	6	0.5		1.5	2	1 学期 24
	僕たちの「センス・オブ・ワンダー」	(1)ア、ウ、エ、オ	(1)オ	(1)ア	(1)ア	12	0.5	1	1.5	3	
	▼評論の読み方	(1)ア、オ、カ／(2)ア			(1)イ	17					
	〔話・聞〕分かりやすい説明をする	(1)イ、エ	(1)イ、ウ／(2)イ			21	3			3	
	〔書〕手順を整理して正確に伝える	(1)ウ、オ／(2)イ		(1)ウ、エ／(2)イ		29		3		3	
2 認識を深める	遊びが生じる場所	(1)ア、ウ、エ、オ	(1)オ	(1)イ	(1)ア	36	0.5	0.5	1	2	
	小説との対話、対話としての小説	(1)ア、ウ、エ、オ	(1)ウ、オ		(1)ア	42	1		1	2	
	水の東西	(1)ア、ウ、エ、オ	(1)イ	(1)ウ	(1)ア	48	0.5	0.5	2	3	
	◆思考への扉1――文化の東西	(1)ア／(3)ア			(1)イ	54					
	評論を要約しよう	(1)オ／(2)ア、イ		(1)エ	(1)イ	55					
	〔話・聞〕発想を広げて課題を見つける	(2)イ	(1)ア、イ／(2)ウ			59	2			2	
	▼図書館の利用法	(2)イ／(3)ア	(1)ア			75					
	〔書〕新聞記事をもとに問いを作り、意見をまとめる	(1)ウ、オ／(2)オ		(1)ア、イ／(2)ア		67		4		4	
3 言葉と社会	言葉は「ものの名前」ではない	(1)ア、ウ、エ、オ	(1)ウ		(1)ア、イ	80	1		1	2	
	まちの豊かさとは何か	(1)ア、ウ、エ、オ	(1)ウ	(1)ウ	(1)ア	87	0.5	1	0.5	2	
	◆思考への扉2――コミュニティのこれから	(1)ア／(3)ア			(1)イ	105					
	時間と自由の関係について	(1)ア、ウ、エ、オ	(1)イ		(1)ア／(2)ア	95	0.5		1.5	2	
	〔話・聞〕本を紹介する	(1)イ、オ／(3)ア	(1)イ、ウ／(2)ア			106	2			2	
	〔書〕調べた情報を説明資料にまとめる	(1)ウ、オ／(2)イ		(1)ア、エ／(2)ウ		110	5			5	
	▼グラフや写真の読み取り方	(2)イ		(1)ア		117					
	実用文を読む 文章と資料を組み合わせる読む一図表・グラフ	(1)ア、エ、オ／(2)ア、イ、エ、オ			(1)ア、イ／(2)イ	121			1	1	
4 共に生きる	真の自立とは	(1)ア、ウ、エ、オ	(1)ア	(1)ウ	(1)ア、イ／(2)イ	130	0.5	1	0.5	2	
	自立と市場	(1)ア、ウ、エ、オ	(1)オ		(1)ア、イ／(2)イ	138	0.5		1.5	2	
	共鳴し引き出される力	(1)ア、ウ、エ、オ	(1)ア、エ		(1)ア、イ／(2)イ	143	0.5		1.5	2	
	▼文章を読み比べるために	(2)ア、ウ			(1)イ／(2)イ	148					

単元	教材名	学習指導要領の内容				頁	配当時数				学期
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等				話	書	読	計	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと						
	〔書〕異なる主張の文章を読み比べて自分の意見を書く	(1)ア、オ／ (2)ア		(1)ア、イ／ (2)ア		151		6		6	
	▼引用の方法	(2)エ、オ		(1)ウ		162					
	〔話・聞〕情報を整理しながら話し合う	(2)エ	(1)エ、オ／ (2)ウ			156	2			2	
5 世界を広げる	「無駄」と進化	(1)ア、ウ、 エ、オ	(1)オ	(1)ウ	(1)ア、イ	168	0.5	0.5	1	2	3 学期 18
	人工知能はなぜ椅子に座れないのか	(1)ア、ウ、 エ、オ	(1)ア	(1)エ	(1)ア、イ	174	0.5	0.5	1	2	
	白	(1)ア、ウ、 エ、オ	(1)オ	(1)ウ	(1)ア／(2)ア	183	0.5	1	0.5	2	
	◆思考への扉3――人間の境界	(1)ア／(3)ア			(1)イ	190					
	〔書〕論証してレポートを書く	(1)ウ、オ／ (2)ウ		(1)イ、ウ／ (2)ウ		191		7		7	
	〔話・聞〕探究したことを発信する	(1)イ、オ	(1)ウ、エ／ (2)エ			199	3			3	
	▼探究学習へのアプローチ	(1)ア	(1)ア			217					
	実用文を読む 広く伝える言葉1―ポスター広告	(1)イ、オ、カ			(1)ア、イ／ (2)イ	207			1	1	
	実用文を読む 広く伝える言葉2―法令文	(1)イ、エ、カ			(1)ア、イ／ (2)イ	211			1	1	
	合計						20	30	20	70	